

経営比較分析表（令和2年度決算）

宮崎県日向市 日向市立東郷病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
60,570	1,228	第2種該当	-	否

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

公立医療機関、また、国民健康保険診療施設として、過疎地である東郷地域における医療の提供や、保健及び福祉との連携により地域住民の健康の保持増進を図っていく役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

年度を通して入院診療を休止したことにより、病床利用率及び入院収益（入院患者1人1日当たり収益）はゼロとなりました。

一方で、新たに、医師と臨床検査技師を採用し、外来診療体制を拡充したため、外来収益は増加し、外来患者1人1日当たり収益も増加しました。

なお、外来収益は増加したものの入院収益が皆無となったため、医療収益全体としては減少しましたが、それ以上に入院診療に係る委託料等の医療費用が減少したことから、医療収支比率は改善しました。

また、医師や診療科の増により、それらに係る費用が新たに発生したことからの、職員給与対医療収益比率及び材料費対医療収益比率は増加しています。

令和2年度は、令和3年度からの無床診療所化への移行期間ではありましたが、より一層の経営の健全化に努めてきました。

結果として、総損失を発生し、累積欠損金は悪化しましたが、經常損失は大きく減少し、經常収支比率は改善したところです。

2. 老朽化の状況について

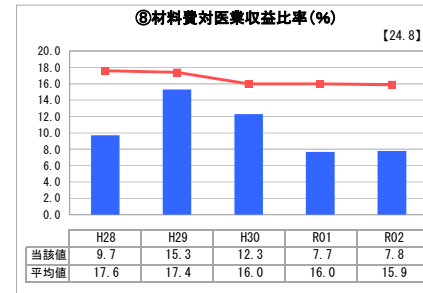
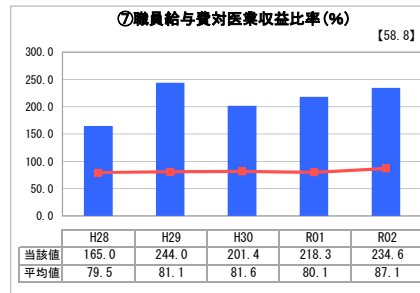
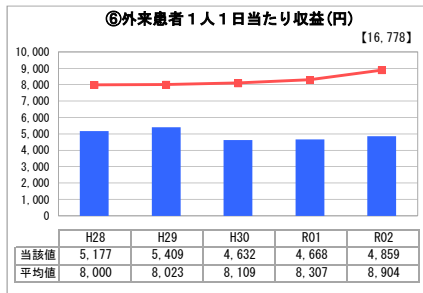
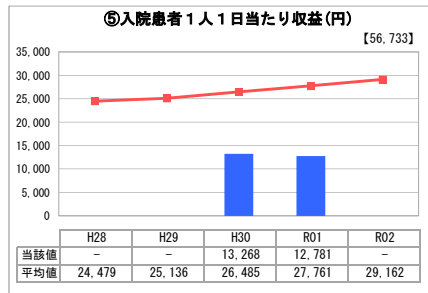
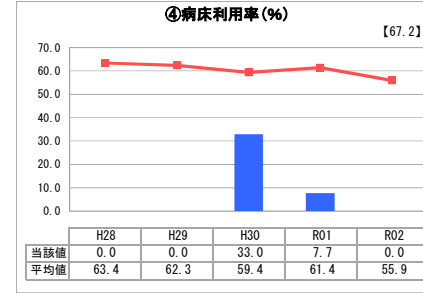
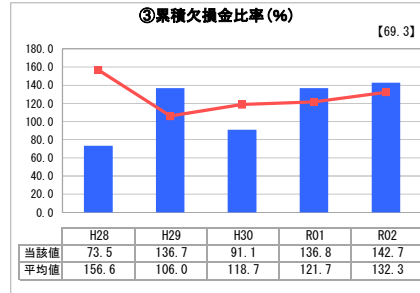
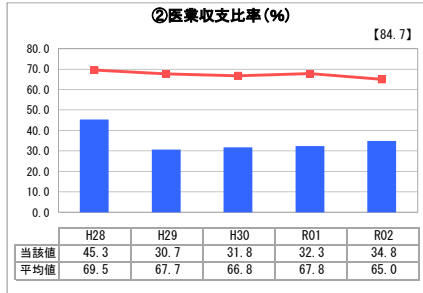
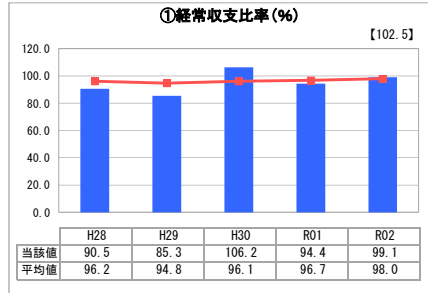
昭和49年に建設された病院施設の老朽化は年々深刻化していますが、無床診療所への移行方針に基づき、医療機器の更新も含めた施設整備について、基本構想及び基本計画の策定を終え、現在、設計業務に着手している状況です。

全体総括

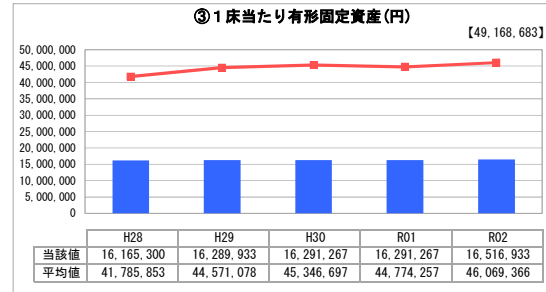
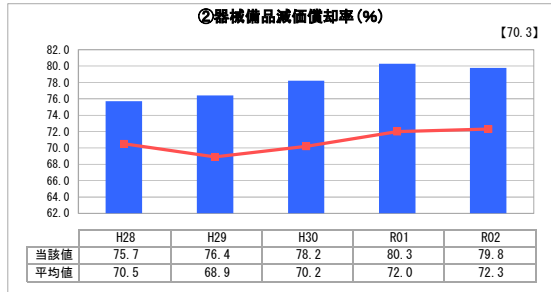
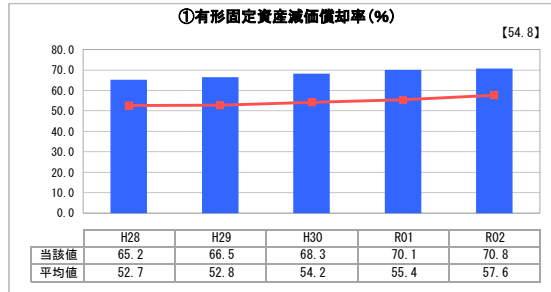
令和2年度は、入院診療及び平日時間外及び休日の救急診療を休止した状況が年間を通して続きましたが、令和3年4月から無床診療所へ経営形態を変更する方針のもとで、外来診療体制の拡充、診療収入の確保、一般会計繰入金金の削減に努めてきたところです。

引き続き、医師の安定的な確保を図りながら、今後、必要な施設整備の整備を行い、持続可能な医療提供体制を構築するとともに地域に必要な役割を果たしていくこととしています。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。